

インストラクターのための 研修ファシリテーション

「教える」から「気づき」の研修へ。
学習効率が異なります！

トレーニング

対象

- 研修講師としてさらにスキルアップしたい方
 - 人材育成・研修企画担当者
 - インストラクションとファシリテーションの違いを知り、効果的に使いこなしたい方
- ※研修講師経験が2年以上の方を対象としています
(すでに経験のあるインストラクターのレベルアップ講座です)。

ねらいと特長

本セミナーでは、学びのプロセスを理解し、参加者一人一人の積極性や学習意欲を引き出すための、研修におけるファシリテーションのテクニックを身につけます。

今までのインストラクションの中にファシリテーションの要素を取り入れることで、参加者が主体的に学び、活性化した場に変化することを、体験とともに学びます。

- 研修におけるファシリテーションに必要なノウハウを習得し、参加者が主体的に学ぶ研修を実施することができるようになる。
- 自己認知の向上でセルフマネジメント力を強化するとともに、自分にあった研修スタイルを見つける。
- 研修におけるNLP(神経言語プログラミング)の実践的な活用方法を学ぶ。

開催日時

2026年9月 1日(火)～ 2日(水)

2027年1月 14日(木)～15日(金)

【時間】2日間とも 9:30～17:30

会場 日本能率協会 研修室
(東京都港区芝公園)

講師
(敬称略)

橋本 珠樹

株式会社樹コンサルタント 代表取締役
認定NPO法人 Try Field 理事長
株式会社多慶屋 社外取締役

参加料

- 法人会員…126,500円/1名(税込)
- 会員外…149,600円/1名(税込)

プログラム

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

1日目 [時間] 9:30～17:30 (昼食時間 12:30～13:30)

アイスブレイク ワーク

研修のファシリテーションとは ワーク

- 研修は人の意識のどこに働きかけるか
- ファシリテーションとインストラクションの違い

モデルになる(ファシリテーターとして、その場の基準を設定する) ワーク

- 自己紹介によるアイスブレイク
- ファシリテーターとして場に与える影響
- ファシリテーターのあり方(プレゼンス)～自己認知の向上～

モデルになる(参加者の無意識レベルにノームを設定する) ワーク

- 自己紹介によるアイスブレイク
- ファシリテーターとして場に与える影響
- ファシリテーターのあり方(プレゼンス)～自己認知の向上～

体験学習のサイクルと認知スキル ワーク

- 体験学習により、体験を気づきへ、気づきを行動変容へつなげる
- 自己認知と他者認知

エネルギーを起こす ワーク

- ラポール(信頼関係)を構築するプレゼンテーション
- 参加者との関係構築・信頼関係をつくるコミュニケーション
- ファシリテーターとしてのコミュニケーション
～参加者を引き込み、影響を与える～

2日目 [時間] 9:30～17:30 (昼食時間 12:30～13:30)

場をファシリテートする ワーク

- 質問により場を作る
講師がする質問・受講者からの質問
- ファシリテーションが引起す問題～対応力が問われる場面～

質問の活用 ワーク

- メタモデル(具体化質問) ● リフレーミング(見方を変える質問)

ことばの使い方 ワーク

- ミルトンモデル(研修の方向性や成果を共有する)
- やる気を引き出すことばの使い方

ストーリーテリング ワーク

- 3つの代表システム ● 感覚に働きかけるストーリーと伝え方

まとめ(今後の研修企画のポイント) ワーク

- 研修の目的、ビジョン、目標の明確化

【事前課題】1人3分程度のプレゼンテーションをご準備いただきます。
詳細は別途ご連絡いたします。



オープンバッジ発行対象

全日程への参加・事前課題の期日までのご提出など一定の基準を満たした場合は、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証である「オープンバッジ」を発行いたします。

